



◇ 生活保護関係

生活保護が国の責任であることを明らかにするため、保護に要する費用の8割を国が負担し、残りの2割は本市で負担しています。

10月31日現在、生活扶助、医療扶助など(保護の種類は7種類ある)を受けている世帯は486世帯、人員にして974人になっています。これら被保護者に支給する保護費も44年度中には約1億7,000万円におよぶ推定です。

毎月支給される保護費も決して高いものではないものの、1日も早く自立更正できるように、毎日のごとく個別指導にあたっている市の専門職員(ケース・ワーカー)が7名、福祉事務所に配置されています。

◇ 児童福祉関係

児童はすべて、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならないという、児童憲章の理念にたつて、本市でも、児童扶養手当の支給をはじめ、市立保育園(10カ所)および児童館(2館)の施設を完備して、児童の福祉向上をはかっています。

◇ 母子福祉関係

市内の対象家庭591世帯の福祉向上をはかるため、佐藤鉄家さんが母子相談員として、対象世帯の各種相談に応ずるとともに、生活資金、住宅資金、修学資金などの貸付相談も引き受け、母子一体の生活向上をはかっています。

◇ 老人福祉関係

人口構成の変化による老齢人口の増大による老人の対策は大きな社会問題化しています。とくに、寝たきり老人の対策、そして、話し相手がなくただひたすらにさびしい余生をおくっている孤独な老人の対策は、前向きな姿勢でとりくまねばならない問題です。



写真 10月4日から開館している、大館市身障者福祉センター

利用料金表

区分	利用者区分	料金	入湯税
休 け い	身障者およびその家族	50円	
	身障者職員等の会社福祉事業関係	100円	20円
	一般市民	150円	20円

身障者センターにつづく

大館老人福祉センターの完成

前向きに進む市の社会福祉事業

社会福祉事業は、困っている人に援助をすることや、児童福祉、母子福祉、老人福祉、身障者福祉、精薄者福祉など、すべての人がしあわせな国民生活ができるようにすることです。

それだけに、非常にその範囲が広く、十分な対策を行なうことは、きわめてむずかしいとされています。

このような観点にたつて、本市の社会福祉事業の実態はどのようになっているか、その概要をさぐってみました。



写真、十一月十三日に開所した大館老人福祉センターです。収容人員は百名で、利用料金は老人(休けい)五百円、宿泊(休けい)七百円です。利用申込は、電話(一四四五)老人福祉センターに直接申込んで下さい。

これに対する市の対策は、老人家庭奉仕員である伊藤絹子さんを中心に、現在、寝たきりのままで余生を送っている8人のご老人の世話をかかさずに行なっているとともに、市内の6,637名の老人たちのよき相談員としていろいろと相談に応じています。

そして、楽しい老後をすごしていただくための市の行事も、敬老会にはじまって老人の健康診断、老人クラブの大会助成(市では10万円を援助)その他、各老人クラブの自主的なレクリエーション活動など、長い間郷土の発展につくした老人の生活には、少なからず力をそそいでいるつもりです。

とくに、11月13日雪沢温泉郷にオープンした県立大館老人福祉センターは、市で土地を提供して建築していただいたもので、秋田県内では、森岳、強首につぐ3番目のもの——。老人たちにとっては、かけがえのないプレゼントであり、この雪沢温泉郷が、常に明るい話題の発生の地であつて欲しいと願っています。

このほか、老人福祉の施設としては、大滝温泉に市の養護老人ホームがあり、現在50名が余生を楽しく送っています。

◇ 身障者福祉関係

一般人にくらべ、社会生活上多くのハンディキャップを負わされている身障者は、市内に1043人もいます。この方たちの福祉を守るため、障害者手帳、補装具の交付、自立させるための更生相談などは積極的に行なっているところです。

しかし、何よりもこの身障者に光明をあたえたのは、ことしの10月、市が県内の市町村にさきがけて建設した「身障者福祉センター」のプレゼントではないかと思えます。開館と同時に利用者が殺到の、名実ともに身障者の「語らいの場」として大いに利用されていることは

非常にうれしいことです。

◇ 精神薄弱者福祉関係

市内には精薄者が163人(18才未満106人・18才以上57人)います。

この方たちへの相談、指導そして、施設入所の紹介なども福祉事務所の仕事になっているものの、とくに施設への入所については、県内でもたった5カ所にすぎないため、入所の紹介には困難をきわめている現状です。

市ではいまのところ、本人やご家族のみならずで組織する「手をつなぐ親の会」の話し合いを数回となく開いて、まず、精薄者の今後の対策をどうすればよいかを親身になって検討を加えています。

◇ 民間社会福祉事業関係

民間の社会福祉活動もめざましいものがあります。

社会福祉法人、大館感恩講の百合ホーム(母子寮)公益質屋、乳児保育所(明年2月開所)などの施設をはじめ総合的な福祉行政の役割をはたす社会福祉協議会、日赤、共同募金会そして民生委員、児童委員などの福祉事業活動は、本市の社会福祉事業の推進には欠かせない存在であります。

<むすび>

あまり具体性のない、本市の社会福祉事業内容の説明でありましたが、大ざっぱな説明の中にも、いかに福祉向上に前向きな姿勢でとりくんでいるかを、少しでもご理解していただければ幸いです。

とくに、身障者と老人の語らいの場であるセンターが相ついで雪沢温泉郷に開館したことは、本市の社会福祉活動の向上にとって、新たな第一歩をふみだすものであると共に今後の福祉行政に大きな光明をはなつものであると、いっていいと思います。